

施策 223 健やかに生きていくための身体の育成

【担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

子どもたち一人ひとりが、生涯にわたり心身の健康を自ら管理できるよう、健康で充実した生活を送るために必要な知識と能力を身につけるとともに、体を動かすことが好きになり、運動やスポーツに積極的に取り組むことによって、心身の健康が保持増進され、体力が向上しています。

平成 31 年度末での到達目標

自ら進んで運動に親しむ習慣を身につけ、目標を持って運動部活動に意欲的に取り組んだり、健康で充実した生活を送るための必要な知識と能力を身につけたりすること等により、子どもたちの体力が向上し、心身の健康が保持増進されています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果		49.0		49.5		51.0
	48.5					
目標項目の説明	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本県の体力合計点の全国との比較（小学5年生男女および中学2年生男女の都道府県別平均値との比較指数）					
29 年度目標値の考え方	子どもたちの体力・運動能力は、全国調査では平均を下回ることから、平成 31 年度に全国平均を上回ることを目標とし、段階的に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22301 体力の向上と運動部活動の活性化（教育委員会）	1 学校 1 運動プロジェクトに取り組んでいる小学校の割合		84.7%		92.4%		100%
		77.0%					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22302 健康教育 の推進(教育委 員会)	毎日、規則正しく 寝起きしている子ども たちの割合		小学生 寝る 38.9% 起きる 60.4% 中学生 寝る 32.2% 起きる 57.0%		小学生 寝る 40.2% 起きる 61.5% 中学生 寝る 33.4% 起きる 58.3%		小学生 寝る 43.0% 起きる 64.0% 中学生 寝る 36.0% 起きる 61.0%
		小学生 寝る 37.6% 起きる 59.3% 中学生 寝る 31.0% 起きる 55.7%					
22303 食育の推 進(教育委員 会)	朝食を毎日食 べている子ども たちの割合		小学生 87.5% 中学生 85.0%		小学生 88.5% 中学生 86.0%		小学生 90.5% 中学生 88.0%
		小学生 86.5% 中学生 84.0%					

現状と課題

- ①平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果において、体力合計点が悉皆調査開始以来、初めて中学校女子で全国平均値を上回りましたが、昨年度全国平均を上回った中学校男子では 0.02 ポイント下回りました。小学校男女は、全国平均値を上回っておらず、引き続き体力の向上が求められています。
- ②運動部活動は、人間形成に有益であり、生徒の心身の成長に大きな役割を果たすことから、適切な運営や効果的な指導を行うことが必要です。また、平成 30(2018)年度全国高等学校総合体育大会、平成 32(2020)年度全国中学校体育大会の開催を通じて、運動部活動をさらに充実させる必要があります。
- ③平成 30 年度全国高等学校総合体育大会の準備を、三重県実行委員会のもとに 6 つの専門部会を設置し、会場地市町、関係団体および関係部局等と連携しながら進めてきました。県内の高校生や関係者への周知については一定実施しましたが、広く県民に認知されるよう啓発を進めていく必要があります。
- ④幼児期は、運動機能の基礎の形成や、運動習慣の定着に重要な時期であり、遊びを通じた運動機会を増やしていく必要があります。
- ⑤多様化する子どもたちの健康課題に対して、学校・家庭・地域が連携して取組を進められるよう、支援体制の構築を進める必要があります。また、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深めるため、がんに関する教育に取り組んでいく必要があります。

- ⑥全国学力・学習状況調査と全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果によると、朝食の摂取と学力・体力との相関がみられることから、摂取率のさらなる向上が求められます。また、食育を推進するため、食に関する指導の一層の充実を図る必要があります。

平成 29 年度の取組方向

- ①小・中学校が、体力向上の目標を設定するとともに、体力テストの継続実施や1学校1運動プロジェクトの実践に取り組むなど、体力向上に向けた取組を促進します。また、市町教育委員会と連携を密にし、各学校の体力向上に向けたP D C Aサイクルを確立できるよう取り組みます。
- ②運動部活動の指導者を対象とした研修会等を通じて指導力の向上を図るとともに、学校における外部指導者の活用を支援します。
- ③平成 30 年度全国高等学校総合体育大会の開催に向けて、総合開会式の全体計画や運営方法等の検討を進めるとともに、高体連競技専門部や会場地市町など関係団体と連携して、競技種目別大会の準備を進めます。さらに、出場する高校生が活躍できるよう、運動部活動の充実を図るとともに、大会開催の機運を高めるため、「支える」立場から高校生が主体となって取り組む高校生活動を中心に、さまざまな機会を捉えて啓発を図ります。
- ④幼児期における子どもの体力づくりの促進に向け、就学前教育に携わる教員（公立・私立幼稚園教諭および保育士）を対象とした研修会を実施します。
- ⑤子どもたちの基本的な生活習慣の確立や性の問題行動、薬物乱用、アレルギー、歯と口腔の健康、心の健康、感染症への対策など健康課題の解決に向けて、関係機関等と連携を図りつつ健康教育を推進します。また、がんに対する正しい理解を深めるため、教材の利活用や指導方法について検証を進めていきます。
- ⑥子どもたちが「食」に関する正しい知識と食習慣を身につけることができるよう、朝食メニューコンクールの実施等を通じて、食育の推進に取り組みます。また、学校給食の衛生管理の徹底を図るため、学校給食関係者等を対象とした衛生管理講習会を開催します。

主な事業

①みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業

【基本事業名：22301 体力の向上と運動部活動の活性化】

（第10款 教育費 第7項 保健体育費 2 体育振興費）

予算額：(28) 20,670千円 → (29) 11,885千円

事業概要：就学前から高等学校まで、子どもの発達段階に応じた運動習慣や生活習慣等の改善、体力向上に向けた学校等の取組を支援することにより、子どもたちの体力向上を図ります。

②みえ子どもの元気アップ運動部活動充実事業

【基本事業名：22301 体力の向上と運動部活動の活性化】

（第10款 教育費 第7項 保健体育費 2 体育振興費）

予算額：(28) 21,438千円 → (29) 6,224千円

事業概要：地域のスポーツ指導者を中学校、高等学校に派遣し、運動部活動の取組を充実させるとともに、指導者の指導力向上を図るため、研修会を開催します。

③平成 30 年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業

【基本事業名：22301 体力の向上と運動部活動の活性化】

(第 10 款 教育費 第 7 項 保健体育費 2 体育振興費)

予算額：(28) 52,033 千円 → (29) 93,028 千円

事業概要：平成 30 年度全国高等学校総合体育大会の開催に向け、三重県実行委員会を中心に、会場
地市町、関係機関・団体等と連携して準備を進めるとともに、機運の醸成を図るため、
効果的な啓発活動に取り組みます。

④学校保健総合支援事業【基本事業名；22302 健康教育の推進】

(第 10 款 教育費 第 7 項 保健体育費 1 保健体育総務費)

予算額：(28) 2,182 千円 → (29) 1,907 千円

事業概要：子どもたちが健康についての正しい知識を身に付け、理解を深めることができるよう、専
門医等を学校に派遣するなどして、学校における健康教育の充実を図ります。

⑤がんの教育総合推進事業【基本事業名：22302 健康教育の推進】

(第 10 款 教育費 第 7 項 保健体育費 1 保健体育総務費)

予算額：(28) 814 千円 → (29) 306 千円

事業概要：教職員が、がんに関する教育の意義を理解し、指導内容・方法等についての専門的な知
識を習得できるよう、関係機関と連携を図り、がんに関する教育協議会を開催するとと
もに、研修会をとおして資質向上を図ります。

⑥学校給食・食育推進事業【基本事業名：22303 食育の推進】

(第 10 款 教育費 第 7 項 保健体育費 1 保健体育総務費)

予算額：(28) 7,040 千円 → (29) 2,476 千円

事業概要：朝食メニューコンクールの実施等を通じて食育を推進するとともに、学校給食の衛生管
理の徹底を図ります。